

[036] 九州大学東洋史論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/25851>

出版情報：九州大学東洋史論集. 36, 2008-03-31. 九州大学文学部東洋史研究会
バージョン：
権利関係：

「九州大学東洋史論集」投稿規定

本誌に論説、研究ノートなどを掲載ご希望の方は、下記の要領にてご投稿下さい。

- 1 「執筆要領」原稿は、以下の要領に従ってご投稿下さい。
原稿の基準枚数は、論説、研究ノートともに六〇〜八〇枚程度、批評と紹介四〇枚程度（いずれも四〇〇字詰め原稿用紙換算）。
- 2 「投稿原稿の形式」原稿は、テキスト文書、ワード文書、あるいは一太郎文書のいずれかの形式で、添付ファイルとしてご投稿いただくのを原則とします。 (宛先 ykawa@lit.kyushu-u.ac.jp)
投稿原稿に、特別な書式設定は指定いたしません。が、図表類は、そのまま版下として使用できるものを当研究会まで、別途郵送してください。(宛先 〒八二一八五八一 福岡県福岡市東区箱崎六一九一一 九州大学文学部内 九州大学東洋史研究会)
- 3 「締め切り」毎年一二月末日
- 4 「採否の通知」投稿原稿は編集委員会にて審査されます。審査結果は、翌年二月末日までに、投稿者へ通知いたします。
- 5 「掲載負担金」掲載にあたっての負担金はありません。
- 6 その他ご不明の点は、上記アドレスまでお問い合わせ下さい。

編集後記

本号には、漢代2、六朝1、宋元2、明清2の計七編の論考を掲載することができました。目黒杏子氏は現在、京都府立大学研修員として漢代の国家祭祀について精力的に研究を進められています。山根直生氏は現在、福岡大学人文学部に講師として在職され、主に唐宋代の地域史、宗族問題の研究を推進されています。明清史の北九州市立大学教授・山本進氏についてはもはや説明を要しないことと思います。雄編をご寄稿頂いたことに深く感謝申し上げます。久芳崇氏は現在本学の専門研究員として、明清交代期の火器技術の伝播についての研究を展開してきております。植松慎悟、戸川貴行、市丸智子はいずれも本学大学院博士課程に在学中の学生です。それぞれ漢代の官制、六朝の政治社会史、元代の貨幣経済史について研鑽を積んできております。宜しくご検討頂きますようお願い申し上げます。

財政、時間、人員など、種々の面で定期的刊行を継続してゆくことが益々困難な状況ですが、今後ともなんとか刊行を続けてゆきたいと念じております。何卒、諸兄弟姉のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(川本)

九州大学東洋史論集

第三十六号

平成二〇年三月二十五日印刷

平成二〇年三月三十一日発行

編集兼 九州大学文学部

発行者 東洋史研究会

〒八二一八五八一

福岡市東区箱崎

六一一九一一

電話 (〇九三六四) 一三三〇

HP <http://www.lit.kyushu>

u.ac.jp/his-orj/

代表者 川本芳昭

印刷所 城島印刷株式会社

福岡市中央区白金

二一九一六